

市民活動センター

たちかわ通信



編集・発行

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ
〒190-0013 立川市富士見町2-36-47 Tel: 042-529-8323 Fax: 042-529-8714
【E-mail】aiaivc@whi.m-net.ne.jp 【URL】http://act.annex-tachikawa.com/

開所日・時間

月～金曜日 8:30～19:00

土曜日 8:30～17:15

日曜日・祝祭日はお休みです。

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2005.08 Vol.28

「旧多摩川小学校活用計画等検討市民委員会」の 進行と提言のとりまとめ役を担っています

少子化などによる学校の統廃合で廃校となった富士見町にある旧多摩川小学校。この学校の跡地・跡施設の活用を検討する市民委員会が、平成17年5月31日から、公募市民16名と地域推薦市民3名により開始されました。

「市民活動センターたちかわ」では、この市民委員会の進行と立川市行政への市民委員会からの活用に関する提言のとりまとめ業務を担っています。平成17年7月5日に開催された第4回市民委員会までに確認された共通認識事項は下記のとおりです。

(右の写真は現地視察時に写した多摩川小です。)



多摩川に程近い「旧多摩川小学校」。市民委員と立川市行政の中間に位置し、客観性や中立性を保ちながら、市民委員のみなさんの意見を十分に引き出す進行に努めていきます。

共通認識事項

- 1 「子どもをどうしたいのか」という視点を核に検討していく
- 2 遠方の子どもたちも喜んで行けるようなアイデアを出し合いたい
- 3 多摩川の河川敷に隣接しており自然を活用したい
- 4 活用のアイデアだけでなく管理や運営の話もしていく
- 5 跡地にネーミングをつけたい
- 6 地域の声・人は大切にする

<<<今月号のもくじ>>>

- | | |
|---|-------|
| 「旧多摩川小学校活用計画等検討市民委員会」の進行と提言のとりまとめ役を担っています | P.1 |
| 特集!! 開催しました！
市民活動団体ネットワークの会 | P.2-3 |
| 情報コーナー | P.4-6 |
| 開催報告
第4回市民おもしろ大学 | P.6-7 |
| 地域福祉推進検討委員会 | P.7 |
| 市民活動センターからのお知らせ！ | P.8 |

・・・開催しました・・・

市民活動団体ネットワークの会

立川のまちの中には、今・・・、

「この問題って放っておいたらどうなるんだろう。だから解決するために行動するんだよ」と賛同者が集まったり、
「柔軟で素早いサービスを市民の視点で提供したい」と事業を起こしたり、
「ここに住んでいる地域の人同士、声をかけあえる関係にしたいんだ」

といった市民活動団体が多く存在する。

普段は独自の活動を展開中の団体が、顔を合わせる会が開かれた。

他の団体のことは意外と知らない?!

市民活動団体ネットワークの会。

6月28日(火)19:00～21:00に女性総合センターアイムの一室に集まった多彩な顔ぶれ。

商店街の空き店舗を子どもの居場所にしてしまった団体、乳がん医療について、病気の経験者自らが啓発活動をしている団体、高齢者の話に耳を傾けその人の人生をかけがえのない1冊に仕上げている団体、在日外国人に丁寧に日本語を教えることを地道に長いこと継続している団体・・・。

本当に多彩だ。

それぞれの活動は、目的も実際の活動の様子もひとつとして同じものはない。



商店街の中の子どもの居場所づくり

市民が市民として自ら考え行動することに強い感心のある人たちがばかりなのだが、意外と他の市民の活動のことはよく知らなかったりする。

市民活動団体として共通の悩み

一方で、「豊富な資金がある訳ではない」「新しい仲間がなかなか増えない」「お得で役立つ情報を知ったのは、問題がようやくと解決した後だった」「行政とのつきあい方に苦労していてもうイヤになるよ」「企業と接点を持ちたいけど、どうしたらいいんだろう」といった声は、活動内容が違っていても、市民活動団体からは共通して出てくる声だったりする。

昨年9月に試みた市民活動団体アンケート調査でも、例えば「たまにパソコンプロジェクターを使いたい。貸してくれるところはある?」とか「子どもの遊びのプログラムを教えてほしい」「ひとつの団体だけよりは連合体の方が企業も話を聞きやすいのでは」など団体同士が知り合っていれば解決できそうな悩みが多数見受けられた。

「まずは、お互いの活動を知りたい」「知恵と力を貸し合えることがあるかもしれない」「連帯することで、共通課題を解決できるかもしれない」と、ネットワークの会が開かれることになった。

具体的に協力し合いたいことが出てきた

市民活動センターたちかわに登録している団体90、市内に拠点を持つNPO法人50、あわせて140あまりの団体に呼びかけをし、当日は20団体27名が集まった。

多くの時間は、各団体からの活動紹介とネットワークへの期待のコメントに割かれた。自前のパンフレットや広報誌を配布しながらの時間。

「こんなことは相談して」とある団体が呼びかければ、他の団体はすかさずメモをとるといったことを繰り返し、活動紹介が終わる頃には、各自の手元には貴重な情報の財産が・・・。



当日持ち寄ったパンフレットの数々

その後はいくつかの小さなグループに分かれ、自由に活動上の悩みやアイデアの交換がなされた。

例えば、ホームレス支援をしている団体からは、地域密着型の団体に「ご近所や商店で余っているお米などはないだろうか」と相談が持ちかけられ、逆に「身近な地域でホームレスに関する講演などが可能」と協力の声が上がった。

また、障害児支援をしている団体に、子どもの余暇活動や学校と地域の橋渡しをしているホリデースクールからは「地域の子どもたちと関わる上で学びたいことがたくさんある。知り合いになりたかった!」と熱い視線が。

一度、会を終了した後も、ほとんどの団体がその場に残り、名刺を交換し合ったり、具体的な約束を取り付けたりすることが続いた。

顔を合わせてないと、

ネットワークは動き出さない

市民活動センターに登録している団体は「登録グループ紹介BOOK」やセンターのホームページ上で、それぞれの活動・連絡先が公開されている。団体間でも互いに手にしている。

しかし、「やはり顔を合わせてないと、相手の様子が分からない」となり、公開された情報も活かせることが少ない。「あの時、話したあの人に声をかけよう」となると状況は一変する。

「会に参加する前は、他の団体と接点があるか不安だったが、実は縁があったんですね」という声も。

実際に、一緒に取り組み始める活動も

ネットワークの会の後、実際に連絡を取り合い、ある団体の活動現場で、別の団体が活動を展開する相談が始まったりしている。

市民活動センターたちかわでは、今後のネットワークの会の持ち方については現在、ヒアリング中。各団体からの声を受け、団体にとっても、このまちにとっても、役に立つ活きたつながりを作りたいと強く感じている。



NPO法人としておきのワンシーンでは、ポケットカード「しあわせの種」の配布にこのネットワークを活かしたいと。

今回の参加団体>

特定非営利活動法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会/たすけあいワーカーズこっこん フリールームことこと/特定非営利活動法人SPORTS・ACT/ホリデースクールわかばボランティアコーディネーター若葉小部会/立川市手をつなぐ親の会/特定非営利活動法人三多摩ホームレス支援機構/曙東はやし連保存会/特定非営利活動法人立川市障害者後援会/たちかわパソコン倶楽部/特定非営利活動法人としておきのワンシーン/柴崎町地区グッドネイバー推進協議会/特定非営利活動法人ブーゲンビア/特定非営利活動法人ライプリー/学習に困難を示す子供を支援する会サンライズ/特定非営利活動法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば/日本聞き書きボランティア協議会・多摩/特定非営利活動法人シニアメイトサービス/立川国際友好協会/栄町地区グッドネイバーをすすめる会/特定非営利活動法人市民活動サポートセンターアンティ多摩

各団体の活動の様子は、「市民活動センターたちかわ登録グループ紹介BOOK」(300円で販売中)、市民活動センターたちかわホームページ<http://act.annex-tachikawa.com>の「登録グループ」から詳しく知ることが出来ます。

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

情報コーナー

～イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

イベント・講習・講座

武蔵台養護学校本人講座

「アートの秋、スポーツの秋を楽しもう」

日時： 9月23日(金) 13:30～15:00
10月15日(土) 13:30～15:00
10月22日(土) 13:30～15:00
11月 5日(土) 13:30～15:00
11月19日(土) 13:30～15:00



場所：都立武蔵台養護学校

対象：障害のある18歳以上の方

内容： 「アートを楽しもう」創作活動
「ティーボールのゲームをしよう」
は美術の指導はありません。 は
運動しやすい服装、運動靴をご用意下さい。

募集人数：各20人

受講料： 1回につき200円（保険代、お茶代）
1回につき40円（保険代）

申込み：はがき、電話、FAXで、以下の事項を8月31日（必着）までにお申込みください。（講座名・参加希望日・郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号）

申込多数の場合、抽選します。

あわせてボランティアの募集もします。詳しくは担当まで。上記時間に準備・片付けの時間が加わります。

都立武蔵台養護学校 公開講座担当：小松澤
〒183-0042 府中市武蔵台2-8-28
TEL：042-576-7491 FAX：042-576-7526

手話語りを楽しむ会2005

スペシャルゲストにNHK手話ニュースの田中清さんをお招きします！

日時： 8月 6日(土)14:00～21:00 開場13:30
14:00～ 手話文化村による芝居
18:30～ 手話語りを楽しむ会コンテスト

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
大ホール（カルチャー棟）

交通：小田急線「参宮橋」駅下車徒歩 7分

チケット：一般 5,000円（全席自由席）

目玉のご案内：社会的風刺たっぷりのブラック・ユーモアを交えたオムニバス形式で皆さんを笑わせます。そして、もうひとつは手話語りを楽しむ会史上初のコンテストです。審査員も人生経験豊かなろうの方々をお願いする予定です。中には大阪で話題の人。さて、優勝に栄冠に輝く手話語り人は誰か！！

申込方法：

- 1.住所、氏名、メールアドレス、枚数、中学生以下のお子さんが同行する場合は名前と年齢を明記の上、下記の申込先までメールまたはFAXでお申し込みください。
- 2.下記口座までチケット代金をお振込みください。
東京三菱銀行 中野駅前支店（普通）1186499
名義 ディプロ ヨナイヤマ アキヒロ
8月 5日（金）14時以降のお申し込みは当日受付の扱いとさせていただきます。ご了承ください。
申込み先・問合せ先：Dプロ手話語りを楽しむ会係
FAX：03-3921-2308
E-mail:event2005@d-pro.net

レッツ GO! キャンプ!

もうすぐ子どもたちも夏休みですね！いろいろな計画立てながら会話が弾んでいるのでしょうか？

立川マザーズでも今年のキャンプが、下記の通り決まりました。木の香りのする、設備の行き届いた、素敵なロッジに泊まります。すぐ下にはきれいな川があって、もちろん小さな子どもも泳げます。別にシャワールームも用意されています。夜は、キャンプファイヤーで大いに盛り上がりましょう！

当日はレクのお兄さん・お姉さん達もお手伝いに来てくれます。きっと楽しく遊べるとおもいますよ！

日時：8月20日～21日

場所：ファミリーロッジ五日市
(あきる野市小和田454)

費用：大人 3,000円(参加人数により多少変動あり)
子ども 無料

交通費：各自負担(立川駅 武蔵五日市よりバス
7分現地まで、往復約1,000円です。)

参加される方には追って詳細のご案内を送ります。会員を募集しています。詳しくはP. 6参照のこと。

問合せ：

立川マザーズ専用電話・FAX 042-527-5878



情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

たちかわ真夏の夜の演劇祭 ミュージカル「ゴーストドリーム」

舞台は賑やかなミュージカルスクール。

そこに通う生徒達の一人ミユキは観客の幸せそうな顔を見たいからミュージカルスターになりたいという明るい女の子。ある日、そのミユキがレッスンの帰り道、車にはねられそうになった女の子を助けて代わりににはねられてしまう。次の日、ミユキは何事もなかったかのように稽古場に来るが、スタジオは悲しみに沈んでいた。ミユキの言葉に何も反応しない仲間達…。亡くなった母の幽霊によって自分もゴースト(幽霊)となってしまうと気づくミユキ。今という時の大切さを知ったミユキは仲間達の悩みを次々と解決していく。そして、神様からもらったご褒美は…。

日時： 8月20日(土)

開演： 13:00 16:00(会場は各回30分前)

場所：アミューたちかわ小ホール

チケット：1,500円

予約・問合せ：PASSION MUSICAL 042-536-8265

第3回 家族ゼミナール開催のお知らせ

「家族ゼミナール」は、統合失調症について家族が学びあい、支え合うことを目的としています。関心のある方は、是非ご参加ください。

日時：各回とも13:15~16:15の予定です。

第1回(水) 9/14 統合失調症とはどんな病気か

第2回(水) 9/28 統合失調症の経過と治療法

第3回(水) 10/12 薬について

第4回(水) 10/26 障害と福祉制度

第5回(水) 11/ 9 私たちの地域にある施設

第6回(水) 11/30 家族の対応について

第7回(水) 12/14 家族会・家族の生活について

場所：幸公民館(幸町2-1-3 TEL:042-534-3076)

対象：統合失調症をはじめとした精神疾患について学びたいと思っている家族。(原則、ご家族の方で7回出席できる方)

定員/参加費：10名/3,000円(資料代、お茶代として)

申込方法：立川精神障害者家族会(通称:立川麦の会)
TEL/FAX:042-537-3905(担当:真壁 博美)

助成情報

2005年度チャリティプレート助成金

障害者(重複を含む)が通う小規模作業所、アキビティ・センター(自立生活センター、グループム)などで、特に緊急性が明確である団体に、設備/備品/車両の助成を行う。

助成対象：

- (1)助成年度の前年の4月1日までに設立され、すでに活動を開始していること
- (2)年間総予算が1,500万円を超えないこと
- (3)事業収入が500万円を超えないこと
- (4)公費助成(国・各市町村)率が年間総予算の60%を超えないこと
- (5)社会福祉法人および財団法人は特別の理由がない限り対象としない

申込方法：

- (1)一次審査必要書類：助成金申請書(用紙は下記まで請求)、前年度の収支計算書、今年度の予算
- (2)二次審査必要書類：役員名簿、前年度の事業報告書、要望物件のカタログ、見積書の写しなど(施設の場合、平面図、立面図、建築業者の見積書の写し)

申込締切：8月31日(水)必着

申込・問合せ先：

日本チャリティプレート協会

〒166-0012 杉並区和田1-5-18アテナビル2階

TEL: 03-3381-4071 FAX: 03-3381-2289

E-mail: info@jcpa.net <http://www.jcpa.net/>

モス夢チャレンジ

ワクワクタウン大作戦

募集内容：あなたが住んでいる街を楽しく、元気にする活動を募集します。“住んでいる街”とは、ごく近い範囲から県や市町村全域といった広範囲の地域も含まれます。応募される活動の企画から実施運営まで、全て応募者が責任をもって行うことを条件とします。

活動期間：2006年2月1日~2007年3月31日

活動期間中は毎月1回活動報告をして頂きます。

活動場所：活動を行う場所は規定しません。

応募資格：年齢、性別、国籍は問いません。ただし、活動は2名以上のチームであることを条件とします。活動管理のため、チームには15歳以上の方を最低1名は含んでください。

応援チーム数：3チームまで

応募期間：2005年8月31日(水)必着

応募方法：ホームページ(<http://www.mos.co.jp/index.html>)のエントリーフォームに所定の事項をご入力の上、送信ボタンをクリックしてご応募ください。また、全国のモスバーガーのお店にあるエントリーシートでもご応募いただけます。

問合せ：株式会社モスフードサービス お客様相談

〒162-8501 新宿区笹笥町22番地

フリーダイヤル 0120-300-900

9:00~17:30



情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

プール活動のボランティア募集

知的ハンディを持つ子どもたちが放課後や土曜日にグループ活動をしています。利用者は主に養護学校に通う中学生、高校生が多いです。友達感覚で一緒に遊んでくださる方、サポートしてくださる方お待ちしております。

日時：8月20・27日(土) 13:00~15:00

場所：立川市総合福祉センター(富士見町2-36-47)

18歳以上の男性を募集しております。

持ち物は水着、水泳帽子、バスタオルです。

問合せ：地域デイサービス スマイルくらぶ

TEL/FAX：042-523-0818 担当：鈴木和枝

武蔵台養護学校公開講座

ボランティア募集

日時や詳細な内容、問合せ先等についてはP. 4参照
都立武蔵台養護学校 公開講座担当：小松澤

TEL：042-576-7491 FAX：042-576-7526

立川マザーズの仲間になりませんか!

立川マザーズは、ひとり親家庭の母子・父子、また結婚相手に先立たれた、あるいは離婚したひとり住まいの方々等の皆さんが会員になり、交流と親睦を図りながら、相互に、精神的・経済的・社会的自立の推進に努め、健全な家庭生活をもたらす事を目的として活動します。

毎年、キャンプや、一泊旅行、ディズニーランド、パソコン教室等、いろんな事業を行ってきました。(P. 4に 8月に行う事業を掲載しています。)

子育ての事、現在あるいは将来の生活の事等、いろいろな困難にぶつかって、ひとりで思い悩んでいませんか?相談できる仲間がいるって、とても大切なこと!声をかけて下さい。お待ちしております。

年会費：1,200円

連絡先：TEL/FAX 042-527-5878

立川マザーズ 会長 柏倉 薫



第4回市民おもしろ大学

「チーズの魅力、立川からの発信」開催報告

講師：チーズ王国代表 久田寿男さん

『人と人の繋がりが生み出す可能性』

「チーズ王国では、自分が美味しいと思ったものしか出さない。」と久田さん。その為、出店当初は商品が20種類しかなかったという。現在、店頭には150種類のチーズが並び、年間では400を数える。その商品の一つひとつが久田さんのこだわりの一品である。チーズの試食の時間、参加者から「美味しい!」と思わず笑顔がこぼれていた。こだわりが人々を笑顔にさせる。

地元立川への郷土愛

「なぜ立川なのか?」という質問に「銀座3丁目チーズ王国という話もあった。しかし、地元である立川を大切にしたい。私にとって故郷である立川、だからこそ大事にしたい。」と語った久田さん。講演を依頼した日、「立川のまちに何かお役に立てるのなら。」と二つ返事でご了解いただいた。久田さんからは立川への強い想いを感じずにはられない。



今回のおもしろ大学の目玉の1つ「試食のチーズ」。
こだわりの絶品です!

大型店には負けない「人と人の繋がり」

「小さな商店だから出来ること」その可能性のお話があった。「今は、大型商店が立ち並び、小さな商店は元気がない。価格では商店は大型店には敵わない。しかし、小さな商店だから『顔と顔が繋がっているからこそ出来るサービス(可能性)』がある。自転車一台にしても、近所の商店なら、パンクの修理など細やかなアフターサービスが提供できる。ずっと付き合っていくことができる。」低価格競争の流れの中で誰も見失ってしまいがちである「人と人の繋がり」。そこから見えてくるものがある。



参加者と対話するように話す久田さん

単純な貨幣価値では測れないし、置き換えられないもの。それが大型店には負けないまちの力を生み出す。久田さんの話は企業経営だけではなく日々の生活にも参考になる。近年、自然災害など日常生活に不安が募る。そんな中、いざという時支えとなるのがやはり「人と人の繋がり」なのだ。緊急時、隣近所で声を掛け合い、助け合える

関係が被害を最小に防ぐ。

ご近所同士繋がり、子育て中のママの繋がりや同じ趣味を持つ人同士の繋がり、一つひとつは一見小さくともそれがまちの力となる。講演を通じて、立川の経済や住民の生活を支えるものは一つであると感じた。

地域の底力を発揮しよう！！

～立川市地域福祉推進検討委員会が発足しました～

昨年1年間かけて、立川市と本会では地域福祉に関する計画を協働して作成しました。立川市は「立川市地域福祉計画」、本会は「第2次立川あいあいプラン21」という名称です。両者は例えて言うなら車の両輪となる計画です。そして計画を具体的に進めるために、行政と本会の共同の呼びかけで、立川市地域福祉推進検討委員会（以後「委員会」）を立ち上げ、第1回目の会議を7月7日（木）に開催しました。いよいよ地域住民のみなさんと今後の地域福祉を進めて行くこととなります。

「縦割りの福祉をつなぐもの」が地域福祉

福祉施策というと、「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童福祉」など、年齢別や障害別に分かれてしまっているのが現状ですが、安心して住みやすいまちづくりを考えると、それだけでは解決しない問題が沢山あります。例えば、地域全体で子育てに関わる風潮作り、ゴミ問題などの生活課題、また治安に関することも大きな関心事です。どれも「それって地域福祉？」と言う人がいますが、福祉は生活全般に関わることだと言えます。地域住民の方々が「自分ごと」として解決のために知恵を出し合うことが「地域の力」を高めることにつながります。

「地域の力」って何？

阪神淡路大震災の時に大きな災害に見舞われた神戸の真野地区では、いち早く災害対策本部を結成して地区組織ぐるみで救援活動を行なうことができました。リーダーの一人は、「寝たきり老人

世帯や障害者世帯、独居・虚弱老人世帯などの弱い立場の人々を救援の手からおとすことは絶対にしまい」と申し合わせたといいます。皆さんのお住まいの地域ではそういうことが話しあえる地域になっているのでしょうか？

地域の力は、具体的な課題解決にできるだけ広い層から住民が参加することで高まります。真野地区も、地域の課題について、徹底的に話し合う風潮があり、その中で培われてきました。取り組む課題は違って、立川でも地域の底力がさらに強くなるように取り組みをしていきます。

何から取り組むか？

この両計画を作るに当たっては市内4つの地域で懇談会が開かれ、地域ごとの諸課題については意見も多く出て整理がされました。ですが、これからどういう対策を立てるかを考えると、地域での情報共有の場や、それを結び付ける人材が必要だと考えています。委員会では、作業部会も設けて、他の自治体の先進例も参考にしながら、具体的な提案を地域の方々に投げかけて、地域づくりを進めます。まずは8月に、総合的な地域福祉の窓口として機能している、横浜の地域ケアプラザの見学をする予定です。今後の進捗状況は追々本誌でお伝えしたいと思います。

[立川市地域福祉推進検討委員会の議事概要については、立川市のホームページでも御覧いただけます。](#)

ふれあいミュージックフェスティバル 日程変更のお知らせ

例年、9月に開催していましたが「ふれあいミュージックフェスティバル」は、下記の通り12月に日程が変更になりました。詳細につきましては、決まり次第、お知らせいたします。なお、ご不明な点は市民活動センターたちかわ（042-529-8323）までご連絡下さい。

日時：平成17年12月11日（日）13:30開場 / 14:00開演 場所：国立音楽大学・講堂

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

ご協力ありがとうございます！

『市民活動センター たちかわ通信』を常設しているところ(下記の場所で受け取ることができます)

立川市社会福祉協議会・市内各公民館・図書館・福祉会館・学習等供用施設
フレンド書房・セイフー立川若葉店・モスバーガー立川高松町店・ローソン若葉町一丁目店
トヨタ西東京カローラ立川富士見町店・レストランサラ・東京ボランティア・市民活動センター

一部地域に新聞折込をいただいています

Y C 読売新聞立川北部サービスセンターの皆様のご好意により、
読売新聞をご購読の方は折り込みにて配布されます。(栄町・高松町・曙町の一部)



市民活動センターたちかわの おすすめ活用法

ホームページ「市民活動WEBたちかわ」

登録団体はホームページのシステムを無料でご利用いただけます。講座のお知らせなど自由な更新が可能となっております。ぜひご利用を。



市民活動センターに登録しませんか？

登録していただくと市民活動センターの広報媒体を使い広く市民のみなさまに活動を広報できるほか、団体として貸室の予約が早く申し込める、印刷機が安く使用することが出来るなどのメリットもあります。毎年4月の更新です。

登録のご希望は市民活動センターまでご連絡ください。

Tel 042-529-8323 Fax 042-529-8714

Email aiaivc@whi.m-net.ne.jp

会議にイベントに…
是非ご利用ください！



貸し出しスペースについて

- ・ボランティアルームふじみ(立川市総合福祉センター内)
- ・ボランティアルームしばざき(立川市シルバー人材センター内)
- ・事務所前のスペース(活動センター前)

活動センター前では無線でインターネットがご使用になれます。

お申し込み方法

事前にお電話が来所にてお申し込みください。先着順とさせていただきます。
(登録グループは優先予約あり)

交通アクセス:

JR立川北口駅より徒歩15分、JR西立川駅より徒歩8分。北口バス停 乗り場、富士見町2丁目下車徒歩4分。

立川市女性総合センターアイム前発くるりんバス、南くるりん左回り乗車。『総合福祉センター前』下車徒歩0分。

平日は無料シャトルバスが立川駅北口バスロータリー交番前より9:50、10:30、11:10、11:50、13:10、13:50、14:30に出ています。

